

オキサジクロメホン・クロメブロップ・ピリミノバックメチル・ベンスルフロンメチル剤 パットフルエースＬジャンボ	取扱メーカー： クミカ 原体メーカー： 全農、バイエル、クミカ、クミカ
成分： オキサジクロメホン〔オキサジノン系 PRTR・1種〕…1.6% クロメブロップ〔フェノキシ酸系〕……………14.0% ピリミノバックメチル〔ピリジニルカルボン酸系 PRTR・1種〕…1.8% ベンスルフロンメチル〔スルホニルウレア系〕……………2.0%	性状： 類白色粒状、水溶性バック入り 1バック 25g 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】……………

- スルホニルウレア抵抗性のアゼナ類、コナギ、ミゾハコベにも効果がある。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。
- 粒径約5mmの豆つぶ製剤を水溶性フィルムに包みバック化したジャンボ剤である。
- バックからの溶け出しが速く、水中拡散性に優れ、安定した効果を発揮する。
- 水溶性フィルム包装のため、薬剤に直接触れることなく散布ができる。またドリフトの心配がなく安心して使用できる。

【使用上のポイント】……………

- 適用地帯は北陸、関東以西である。
- 雑草の発生前から生育初期に有効なのでノビエの2.5葉期までに、時期を失ないように散布する。なお多年生雑草は生育段階によって効果にブレが出るので、必ず適期に散布する。

雑草名	散布適期
ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ	2葉期まで
オモダカ クログワイ	発生始期まで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生始期まで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前

- オモダカ、クログワイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないの、有効な後処理剤と組み合わせて使用する。

- 散布に当たっては、やや深めの湛水（水深5～6cm）にし、水の出入りを止める。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。
- 散布後数日間著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがあるが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていない。
- 適用作物（水稲）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（いぐさ、れんこん、せり、くわい）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 吸湿性があるので、開封後は早めに使用する。使い残りは開封口を密封して、湿気が入らないように保管する。

【適用と使用法】

作物名	適用雑草名	適用 土壌	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	適用地帯	本剤の 使用回数
移 植 水 稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ オモダカ (北陸を除く) クログワイ (北陸を除く) セリ アオミドロ・藻類に よる表層はく離 (関東・東山・東海 を除く)	砂壤土 ～埴土	移植後 1 日～ ノビエ 2.5 葉期 但し、移植後 30 日まで	小包装 (パック) 10 個 (250 g)	水田に小包 装(パック) のまま投げ 入れる。	北陸, 近畿・ 中国・四国 の普通期及 び早期栽培 地帯	1 回 ※
			移植後 3 日～ ノビエ 2.5 葉期 但し、移植後 30 日まで			関東・東山・ 東海, 九州 の普通期及 び早期栽培 地帯	

※オキサジクロメホンを含む農薬の総使用回数 : 2 回以内
 ※クロメプロップを含む農薬の総使用回数 : 2 回以内
 ※ビリミノバックメチルを含む農薬の総使用回数 : 2 回以内
 ※ペンスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数 : 2 回以内